

県内高校の取組

1 県立高等学校

(1) 特色ある学校・学科の設置

- 併設型中高一貫教育校（広島中・高等学校） 1
- 連携型中高一貫教育校（加計高等学校芸北分校） 2
- 複数の専門学科からなる学校（総合技術高等学校） 3
- 専門高校における拠点校（西条農業高等学校，庄原実業高等学校，広島工業高等学校，福山工業高等学校，尾道商業高等学校，広島商業高等学校） 4
- スポーツや芸術で特に優れた力を発揮する人材を育成する学校
（広島皆実高等学校 体育科，熊野高等学校 普通科 芸術類型） 5
- 多部制定時制単独校（芦品まなび学園高等学校） 6

(2) 学力向上への取組

- 高等学校学力向上対策事業（県教育委員会重点施策） 7

(3) グローバル化への取組（姉妹校，留学支援など） 8

- 県立学校海外交流推進事業（県教育委員会重点施策）

2 私立高等学校（別冊）

ミッション：全人教育を実現し、本県教育を先導する学校

○教育方針

6年間の計画的・継続的な教育活動により幅広く深い教養と高い知性を培い、グローバル化時代において活躍することのできる人材を育成する。

- ・平成16年4月開校
- ・中学校各学年4学級、高校(普通科)各学年6学級
(参考)併設型中高一貫教育校：同一の設置者が設置する中学校及び高等学校において中高一貫教育を行う

【主な特色ある教育活動】

◆ことばの教育の推進

中高6年間で計画的・継続的に「ことばの教育」を推進。
(中学校は、文部科学省の教育課程特例校の指定を受けて必修教科「ことば科」を開設)

◆寄宿舎の活用

- 全校生徒を対象に、寄宿舎を活用した短期入寮教育
- ・入学当初：オリエンテーション・短期入寮
- ・第2学期：学年を縦割りにした異年齢集団で行う短期入寮
- ・第3学期：学力向上に向けた希望者による短期入寮

【中期達成目標】

難関大学等合格者90名以上(うち広島大学合格者40名以上、最難関大学10名以上)

すべての生徒が高い目的意識をもち、自分の進路希望を実現し、将来の人生設計に向けて力強い一歩を踏み出していくことが大切

※難関大学等合格者数

卒業年度	平成22年度	平成23年度
合格者数	72	70

注)難関大学等：

最難関大学(医学科含む)、広島大学

連携型中高一貫教育校

広島県立加計高等学校芸北分校

(北広島町)

連携型中高一貫教育：既存の市町村立の中学校と都道府県立の高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で中高一貫教育を実施するもの。

○連携型中高一貫教育校に指定(平成13年4月～)：芸北中の8割以上の生徒が芸北分校に進学(平成23年度)隣接する芸北中学校と授業・行事・部活で中高一貫教育を推進，中高職員の合同会議の月例化

◆高校0学期

芸北中3年生全員が入学前の7カ月間，分校で週3日80分間の自学自習，週2日合同部活を実施

◆合同行事

りんごの袋かけ・収穫，中高合同体育祭，太田川クリーン作戦，野球応援など

◆特色ある教育課程

多様な進路希望に応えるため，3つの類型(文理・農業・体育)を設置

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
文部	国際総合	国語総合	数学A	理科	社会	英語I	英語II	英語III	英語IV	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII	英語IX	英語X	英語XI	英語XII	英語XIII	英語XIV	英語XV	英語XVI	英語XVII	英語XVIII	英語XIX	英語XX	英語XXI	英語XXII	英語XXIII	英語XXIV	英語XXV	英語XXVI	英語XXVII	英語XXVIII	英語XXIX	英語XXX
理部	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文
農部	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文
体育	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文	現代文

◆平成25年度から島根県生徒を受入れ

自宅から通学できない島根県からの生徒の入学に当たっては，学校が地域と連携して下宿先等を確保する。

(参考)平成24年度在籍生徒数

	1年	2年	3年	合計
普通科	21	32	21	74

(参考)部活動：運動部6，文化部2(神楽部，農業部)
 ・運動部は全員加入
 ・スキー部は全国大会出場実績有
 ・神楽部は年間20回以上公演

(参考)分校が所在する芸北地域における異校種との連携

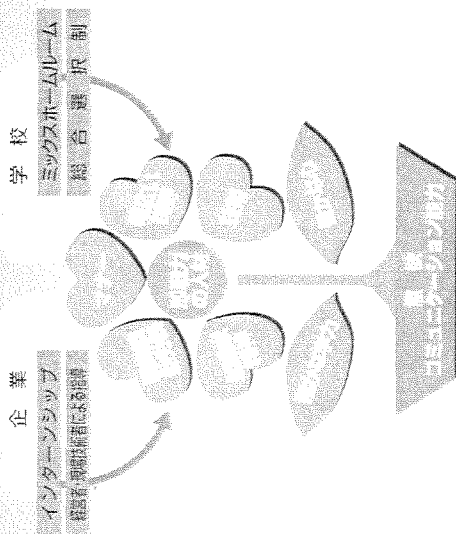
- ・小中高の校長会の月例化
- ・「合同サマーセミナーin 芸北」：近隣の中学3年，高校1・2・3年，大学生・大学院生が集結し，3日間勉強漬けのセミナー
- ・「出身小学校へのインターンシップ」：高校1年生全員が，出身小学校で3日間，補助教員体験

複数の専門学科からなる学校

広島県立総合技術高等学校

(三原市)

総合技術高校が育てる生徒像



「ものづくりの技術」「ビジネス感覚」「もてなしの心」を持ち、幅広い視野を持つ人材になることを目指しています。

総合技術高校で学ぶと、
即戦力及び社会に貢献
できる人材として次の
事が身に付きます。

- ♥ **職業観・勤労観**
働くことの大切さを学びます
- ♥ **起業家精神**
新しいことにチャレンジする精神を養います
- ♥ **幅広い視野**
社会や産業の変化に柔軟に対応できる
素質を養います
- ♥ **技術・マナー**
産業界のいききた技術を学ぶとともに、
マナーを身に付けます

○平成17年4月に、工業・商業・家庭の専門学科を有する県内唯一の複合型専門高校として開校

○設置学科

- ・電子機械科：メカトロニクスのスペシャリスト
- ・情報技術科：コンピュータのスペシャリスト
- ・環境設備科：いやしとやすらぎの空間をクリエイトするスペシャリスト
- ・現代ビジネス科：即戦力となる、流通分野・会計分野のスペシャリスト
- ・人間福祉科：家庭や地域の福祉ニーズに対応できる介護・医療・保育のスペシャリスト
- ・食デザイン科：高校で調理師免許を取得し、食のスペシャリスト

◆新しい専門教育の内容

総合選択科目	数学I・数学II・物理I・化学I・生物I・英語I・情報I・総合選択科目 工業系科目：インテリジェント製造、工業数理基礎、測図、車庫開閉化学体など 商業系科目：簿記、マーケティングなど 保健系科目：発達障害者・生活困窮者研究、コミュニケーション・ユニバーサルデザイン研究会など
専門科目	胃袋のスペシャリストになるための専門科目を学びます
共通専門科目	すべての学科の生徒が共通に学びます 産業探求、インターンシップ/産業総合実習、ビジネス英語
普通科目	国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、英語、4などを学びます

- ・「ものづくりの技術」を身に付けます
- ・「ビジネス感覚」を身に付けます
- ・「もてなしの心」を身に付けます
- ・幅広い視野を身に付けます
- ・職業観・勤労観・そしてマナーを身に付けます
- ・即戦力となる人材を育てます

◆ミックスホームルーム

1年次は異なる学科の生徒が一つの教室で学校生活を送る(多様な感性・価値観を共有。2・3年次は学科別ホームルーム)

◆5つ以上の資格を取得することを目標

※平成23年度実績 90.4%

専門高校における拠点校

拠点校の役割等

役割

- 農業、工業、商業の各分野において、将来のスペシャリストを育成する。
- 農業、工業、商業の各分野において、専門教科における基礎・基本を徹底するとともに、より高度な知識・技術を身に付け、それらを生かした進学・就職のできる人材を育成する。
- 県内の小・中・高等学校における職業教育のセンター的な役割を担う。

目指す教育

- 生涯にわたリ学び続ける意欲をもったスペシャリストの育成

○産業の高度化に対応した、専門性の習得

- ※企業から招聘等による高度な専門教科の指導
- ※大学等での単位認定も必要に合わせた高大連携
- ※大学等との共同研究の推進

○高度な資格取得

- ※日本一のスペシャリストになるための基礎づくり
- ※全国トップレベルへの資格取得を目指す

○上級学校への進学

- ※大学と高校の教員の連携
- ※大学等進学を想定した教育内容の構築
- ※指定校推薦資格の拡大

○県内企業への人材供給

- ※県内の企業等へ専門性を備えた人材の供給

○県内の職業教育のセンター的役割

- ※他の高等学校の生徒にも先端技術の体験の場を提供することとし、授業公開を定期的に行い、他校も高めた教員の指導力を向上
- ※中学校の教員にも授業を公開し、事前生徒の体験の場を提供することにより、義務教育段階でのキャリア教育の充実を促す

技術の進展等に対応できる施設・設備の充実

教員の専門教科の指導力向上：先端技術等の研修の充実
(大学や企業との連携)

広島県地方産業教育審議会答申(平成20年8月25日)

- 3「次代の産業を担う人づくり」の在り方・方策
- (4)専門高校拠点校の機能の強化について
 - 拠点校の役割の機能化・個性化
 - ・地元産業界等と連携し、最先端の教育内容の研究開発を推進
 - ・大学等における学修の成果を単位認定する高大連携の推進等の指導強化
 - ・拠点校以外の教員に先端技術を学ぶ場の提供や定期的な授業公開などを充実
 - ・義務教育段階でのキャリア教育をサポートするなど、職業教育のセンター的な役割の拡大

拠点校の概要

○農業

- 西条農業高校(東広島市)
 - 園芸科、畜産科、生活科、農業機械科、緑地土木科、生物工学科、食品科学科
- 庄原実業高校(庄原市)
 - 生物生産学科、環境工学科、食品工学科、生活科学科

○工業

- 広島工業高校(広島市)
 - 機械科、電気科、建築科、土木科、化学工学科
- 福山工業高校(福山市)
 - 機械科、電気科、建築科、工業化学科、電子機械科、染織システム科

○商業

- 尾道商業高校(尾道市)
 - 商業科、ビジネス会計科、情報管理科
- 広島商業高校(広島市)
 - 商業科、国際経済科、会計科、情報システム科

スポーツや芸術で特に優れた力を発揮できる人材を育成する学校

体育科～広島県立広島皆実高等学校(広島市)

平成4年度に、既に設置されていた普通科, 衛生看護科に加え, 体育科を設置

- 専門教科の学習や運動部活動を通して, より高度な体育・スポーツに関する知識と技術を習得し, 体育・スポーツの指導者として必要な資質を培う。
- 全国に通用する運動部の育成を行い, 県内の運動部指導の模範となる。

【強化種目】陸上競技(男・女), サッカー(男子), バスケットボール(男・女), 剣道(男・女), 柔道(女子)

◆専門教科「体育」の科目を3年間で34単位履修

学年	科目	年度																																										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34									
1年	国際総合	世界文化A	数学I	英語I	理科I	社会I	体育I	音楽I	美術I	書道I	保健	英語II	数学II	理科II	社会II	体育II	音楽II	美術II	書道II	保健	英語III	数学III	理科III	社会III	体育III	音楽III	美術III	書道III	保健	英語IV	数学IV	理科IV	社会IV	体育IV	音楽IV	美術IV	書道IV	保健						
2年	現代文	古典	古文	漢文	英語I	英語II	英語III	英語IV	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII	英語IX	英語X	英語XI	英語XII	英語XIII	英語XIV	英語XV	英語XVI	英語XVII	英語XVIII	英語XIX	英語XX	英語XXI	英語XXII	英語XXIII	英語XXIV	英語XXV	英語XXVI	英語XXVII	英語XXVIII	英語XXIX	英語XXX	英語XXXI	英語XXXII	英語XXXIII	英語XXXIV	英語XXXV	英語XXXVI	英語XXXVII	英語XXXVIII	英語XXXIX	英語XXXX
3年	現代文	古文	漢文	英語I	英語II	英語III	英語IV	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII	英語IX	英語X	英語XI	英語XII	英語XIII	英語XIV	英語XV	英語XVI	英語XVII	英語XVIII	英語XIX	英語XX	英語XXI	英語XXII	英語XXIII	英語XXIV	英語XXV	英語XXVI	英語XXVII	英語XXVIII	英語XXIX	英語XXX	英語XXXI	英語XXXII	英語XXXIII	英語XXXIV	英語XXXV	英語XXXVI	英語XXXVII	英語XXXVIII	英語XXXIX	英語XXXX	

※前2年が別課程, 第3年度が, 英語英語総合, 化学基礎, 物理基礎, 保健

※専門を生かした進路実現をした生徒の割合

卒業年度	平成22年度	平成23年度
割合	67%	66%

普通科 芸術類型～広島県立熊野高等学校(熊野町)

昭和59年度から芸術類型「美術コース, 書道コース」, 昭和62年度から芸術類型「音楽コース」がスタート(第2学年から文科型, 理科型, 芸術類型のいずれかを選択)

- 地域社会と連携し伝統文化を背景とした教育活動を推進するとともに, 広島県における芸術教育をリードする。

○エリザベト音楽大学や倉敷芸術科学大学との教育提携, 中国四川省内江市第七中学(内江芸術学校)との姉妹校提携も結び教育内容を充実

◆音楽, 美術, 書道の科目を3年間で15～17単位履修

学年	科目	年度																																										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34									
1年	国際総合	世界文化A	数学I	英語I	理科I	社会I	体育I	音楽I	美術I	書道I	保健	英語II	数学II	理科II	社会II	体育II	音楽II	美術II	書道II	保健	英語III	数学III	理科III	社会III	体育III	音楽III	美術III	書道III	保健	英語IV	数学IV	理科IV	社会IV	体育IV	音楽IV	美術IV	書道IV	保健						
2年	現代文	古典	古文	漢文	英語I	英語II	英語III	英語IV	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII	英語IX	英語X	英語XI	英語XII	英語XIII	英語XIV	英語XV	英語XVI	英語XVII	英語XVIII	英語XIX	英語XX	英語XXI	英語XXII	英語XXIII	英語XXIV	英語XXV	英語XXVI	英語XXVII	英語XXVIII	英語XXIX	英語XXX	英語XXXI	英語XXXII	英語XXXIII	英語XXXIV	英語XXXV	英語XXXVI	英語XXXVII	英語XXXVIII	英語XXXIX	英語XXXX
3年	現代文	古文	漢文	英語I	英語II	英語III	英語IV	英語V	英語VI	英語VII	英語VIII	英語IX	英語X	英語XI	英語XII	英語XIII	英語XIV	英語XV	英語XVI	英語XVII	英語XVIII	英語XIX	英語XX	英語XXI	英語XXII	英語XXIII	英語XXIV	英語XXV	英語XXVI	英語XXVII	英語XXVIII	英語XXIX	英語XXX	英語XXXI	英語XXXII	英語XXXIII	英語XXXIV	英語XXXV	英語XXXVI	英語XXXVII	英語XXXVIII	英語XXXIX	英語XXXX	

※専門分野で進学した生徒の割合

卒業年度	平成22年度	平成23年度
割合	50%	67%

ミッション:1「櫛風沐雨」の建学精神を身に付けた生徒を育成し、生徒の力を最大限に伸ばす。
 2 地域の生涯学習, 地域活性化の中核拠点としての役割を担う。

- ・昼夜間開講の多部制定時制単独校(平成12年4月に開校)
- ・普通科:午前部, 午後部, 夜間部(各部:各年次1学級)

(参考)三部制授業時間

午前部		午後部		夜間部	
1限	8:45~9:30	9限	17:35~18:20	11限	19:35~20:20
2限	9:35~10:20	10限	18:25~19:10	12限	20:25~21:10
MHR・掃除	10:25~10:45	MHR・掃除	19:15~19:35		
3限	10:45~11:30	7限	15:15~16:00		
4限	11:35~12:20	8限	16:05~16:50		
5限	13:15~14:00				
6限	14:05~14:50				
MHR・掃除	14:55~15:15				
7限	15:15~16:00				
8限	16:05~16:50				

年次と部を超えて
科目選択が可能

【主な特色ある教育活動】

◆自分にあった学習スタイル

- ・1日12時間の授業展開
- ・70科目289講座, 商業・農業・工業の科目も開設
- ・分かる授業(少人数指導, 習熟度別授業, ICT機器を活用した教育を推進)
- ・体験学習(インターンシップ, ボランティア活動)

◆多様な単位取得

- ・高等学校卒業程度認定試験, 各種検定試験合格, 大学・専門学校の講座受講等の単位認定
- ・年2回(春・秋)の入学・卒業

◆社会性・主体性の育成

- ~「社会のルールが本校のルール」
 - ・キャリア教育の推進(職場見学・上級学校見学, 外部講師によるマナー講習会・面接指導)
- ◆地域の人とともに学ぶ
- ・公開講座, 聴講生講座, 図書室の開放
 - ・地域人材の積極的な活用
 - ・地域の保育所, 専門学校, 大学との連携

※在籍生徒の平均
欠席日数は, 中
学校時と比べ,
1/2以下に減少
↓
中学校時平均90日
1年次平均41.8日
(平成23年度)

※平成24年度全国高校定時制通信制体育大会
に4種目出場

部活動については, 異なった時間帯に授業を受けている生徒や仕事をしながら学校に通っている生徒がいるため, 部員全員が集まれる練習時間帯を工夫し, 週2・3日の練習では, 密度の高い練習をしている。

県教育委員会重点施策 ～すべてのベースとなる子どもたちの学力・体力の向上～

高等学校学力向上対策事業

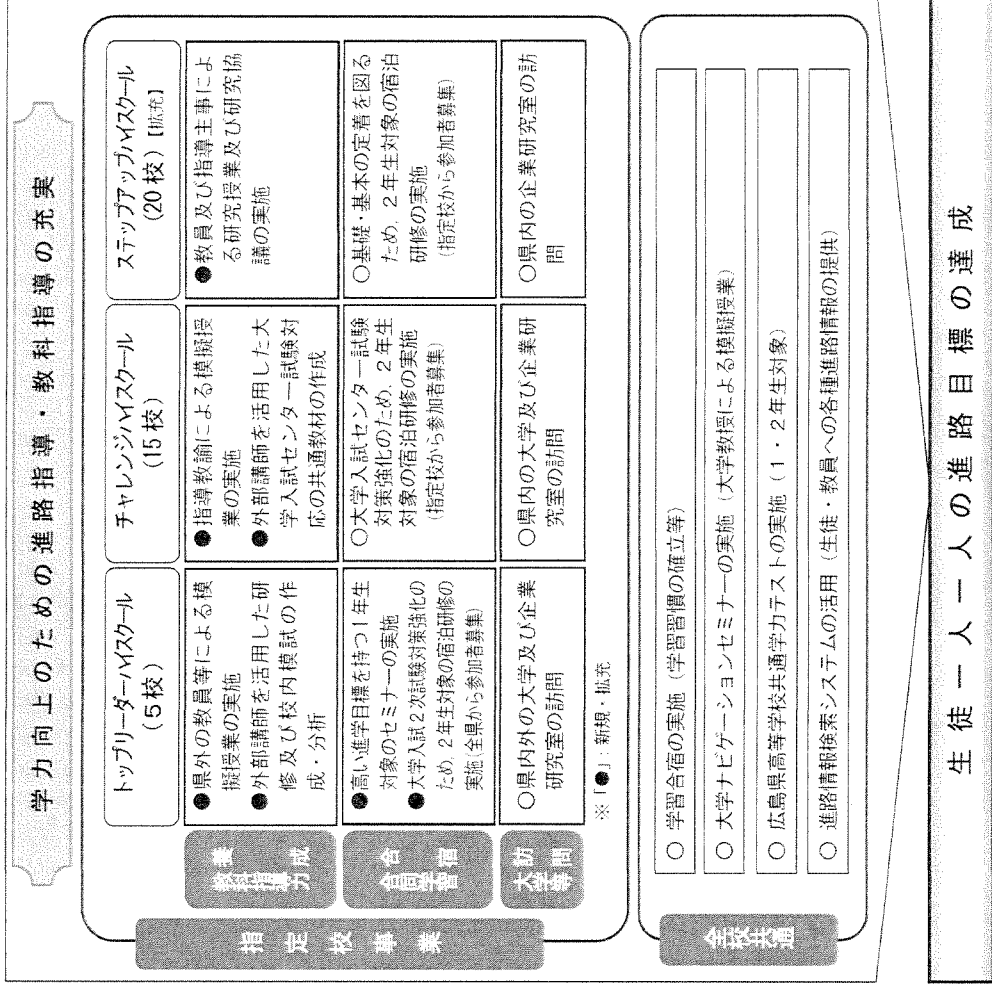
事業の目的

- トップリーダーハイスクール**
 - ・高い志を持った次代のトップリーダーを育成・輩出する学校として指定
 - ・生徒に主体的な学習習慣を確立させ、高い進路の目標の実現に果敢に挑戦する意欲を醸成する取組を実施
- チャレンジハイスクール**
 - ・本県における将来のリーダーを育成・輩出する学校として指定
 - ・生徒に主体的な学習態度を育み、将来、県内の各分野で活躍しようとする意欲を高める取組を実施

○ステップアップハイスクール

- ・地域を支える人材を育成・輩出する学校として指定
- ・生徒に将来の生き方や進路について考察する態度や学習の必要性・有用性に対する意欲を育成する取組を実施

事業内容



生徒一人一人の進路目標の達成

県教育委員会重点施策 ～グローバル感覚を持った人材の継続的な育成～

県立学校海外交流推進事業

事業の目的

○県立学校と海外の学校との姉妹校提携を促進するとともに、生徒の留学支援や教員の海外派遣を実施することにより、グローバル社会に対応できる幅広い視野を持ち、主体的に行動するコミュニケーション能力を身に付けさせる。

※海外姉妹校との交流状況(平成23年度)

【県立安芸府中高校の例】

オーストラリア研修旅行(10日間):国際科2年生がホームステイし、姉妹校で、授業参加や英語で日本文化の紹介のスピーチ等を行った。

※「国際交流フォーラム」の開催

- (7月14日高校生、保護者、教員等192名が参加)
- ・馬越恵美子桜美林大学教授が「広島から世界へ!グローバルリーダーになろう」と題し講演
- ・「高校生の海外留学」をテーマに長期留学経験者がパネルディスカッション
- ・留学制度説明会や個別相談会

※留学経費の支援(県内国公立高校生)

- ・助成金額:上限40万円
- ・選考基準:成績要件、県教育委員会が実施する選考試験
- (この他、県立学校の生徒対象の支援も有)

事業内容

姉妹校提携・交流支援【拡充】

- 姉妹校提携に係るノウハウや提携先等の情報を提供
- 姉妹校提携経費の支援
- 姉妹校との交流のためのWeb会議システムの導入

留学支援【拡充】

- 留学経費の支援
姉妹校を含む海外の学校に留学するための経費の一部を支援(留学団体の留学プログラムを一部活用)
- 国際交流フォーラムの開催
留学経験者によるパネルディスカッション、有識者による講演、留学支援制度の説明
- 留学団体と連携した留学マニュアルの作成・配布

教員海外派遣【新規】

- 姉妹校と教員交流を実施

《海外の学校と継続的な交流を行うための環境整備》

姉妹校提携

姉妹校との交流

- ・修学旅行等での学校訪問
- ・Eメール交換 作品交換等
- ・交流行事(Web会議 文化祭等)

《生徒が海外の学校へ留学しやすい環境の整備》

《生徒の留学意欲の向上》

《教員のグローバル感覚の醸成》

国際的視野やコミュニケーション能力を持ったグローバル人材の育成